

北九州市監査公表第12号

平成31年2月20日

北九州市監査委員	井上	勲
同	廣瀬	隆明
同	香月	耕治
同	福島	司

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等監査を行ったので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

1 監査の対象

今回の監査は、北九州市（以下「市」という。）が資本金、基本金等の4分の1以上を出資している団体のうち、次の4団体を抽出し、平成29年度及び平成30年度（平成30年4月から同年6月末日まで）の事業における出納その他の事務の執行を対象とした。

- (1) 公益財団法人北九州市環境整備協会
- (2) 公益財団法人北九州国際技術協力協会
- (3) 株式会社北九州ウォーターサービス
- (4) 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

2 監査の方法

上記事務に関する監査に必要な資料の提出を求め、当該事務が適正に執行されているか等を主眼に、抽出による関係書類等の調査をするとともに、関係職員から説明を聴取した。

3 監査の期間

平成30年7月11日から平成31年2月7日まで

4 事業の概要及び監査の結果

(1) 公益財団法人北九州市環境整備協会

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州市環境整備協会（以下「整備協会」という。）は、廃棄物の適正処理並びに環境衛生に関する調査、研究、検査及び相談等を通じて生活環境の健全化を推進するとともに、公衆衛生の向上を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与することを目的として、昭和57年3月18日に設立され、平成24年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

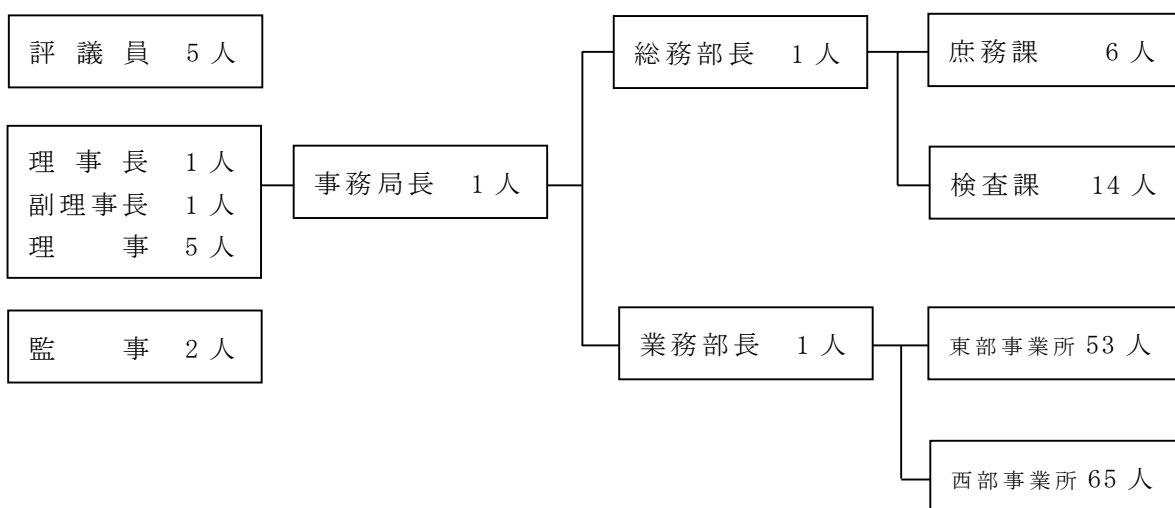
(イ) 現況

整備協会は、前記の事業目的を達成するため、一般廃棄物の適正処理及び減量並びに環境美化に関する事業、環境衛生に関する調査・研究・検査及び相談等に関する事業等を実施している。業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

整備協会の組織は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、整備協会の設立に当たり、基本財産1,000万円のうち300万円(30%)を出捐するとともに、市内の家庭から排出される家庭ごみ及び資源化物の収集運搬業務、環境検査分析業務等を委託

し、平成29年度は6億9,831万円、平成30年度は6月までに1億7,266万円の委託料を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

整備協会の平成29年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は682万円で、前年度と比べると1,083万円減少した。

収益は、前年度と比べ、2,516万円の減少となった。これは、環境検査分析事業収益が減少したことなどによるものである。

また、費用は、前年度と比べ、1,433万円の減少となった。これは、経常費用のうち、環境検査分析事業費が減少したことなどによるものである。

平成30年4月から市が一般ごみ収集運搬業務を全面委託化したことにより、安定的・継続的なごみ収集業務における整備協会の担う役割は大きくなっている。

今後とも、市から受託した廃棄物適正処理事業を安定的に実施するとともに、これまで蓄積した技術・ノウハウを活かした環境検査分析事業を推進し、環境学習・国際協力事業にも積極的に貢献して、健全な収支の維持に努められることを期待する。

表1 業務実績

(金額は税抜き)

事業名		平成28年度		平成29年度	
		件数等	収入(円)	件数等	収入(円)
環境 検査 分析 事業	浄化槽水質検査	1,309 検体	10,011,000	1,346 検体	10,257,200
	浄化槽法定検査	1,608 基	10,132,500	1,638 基	10,253,000
	簡易専用水道検査	858 基	14,622,867	799 基	13,637,225
	飲料水検査	723 検体	7,335,700	708 検体	7,007,100
	工場廃棄物等検査	678 検体	10,541,266	527 検体	8,784,479
	放射線測定	252 検体	2,524,000	253 検体	2,574,000
	小計		55,167,333		52,513,004
	廃棄物処分場排水処理 施設運転管理	1 件	8,387,411	1 件	7,815,286
	廃棄物処分場分析	1 件	21,692,419	1 件	15,563,267
	焼却工場に係る分析	1 件	5,000,000	1 件	6,668,000
	ごみ質等に係る分析	6 件	6,060,000	4 件	4,450,000
	公共用水域水質調査	6 件	33,450,000	1 件	2,050,000
	工場・事業所排水試験	0 件	0	1 件	8,300,000
	下水道工事に伴う水質 検査	1 件	396,000	1 件	313,000
	石油備蓄基地の飲料水 等検査	1 件	2,177,900	1 件	2,422,090
	病院排水水質検査	6 件	2,657,800	6 件	2,334,000
	pH検査	1 件	365,500	1 件	771,500
	国際研修	3 件	20,885,326	3 件	32,026,125
	環境学習	2 件	1,603,000	4 件	1,700,000
	その他分析	8 件	2,823,000	7 件	3,544,000
	小計		105,498,356		87,957,268
	環境検査分析事業計		160,665,689		140,470,272
	家庭ごみ収集運搬	1 件	674,305,200	1 件	676,753,212
市民いっせいまち美化	1 件	417,600	1 件	435,000	
廃棄物適正処理事業計		674,722,800		677,188,212	
合計		835,388,489		817,658,484	

表2 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額 (a)	平成28年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	224,406,575	249,724,690	△25,318,115
貯蔵品	637,646	780,317	△142,671
前払費用	459,308	459,308	0
仮払金	292,830	321,500	△28,670
未収金	105,539,917	97,634,473	7,905,444
流動資産合計	331,336,276	348,920,288	△17,584,012
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	55,282,731	52,642,939	2,639,792
減価償却引当資産	268,626,223	236,933,995	31,692,228
事業所改築修繕積立資産	6,131,782	6,131,782	0
西部事業所建設積立資産	6,272,000	6,272,000	0
塵芥車購入積立資産	9,957,600	29,808,000	△19,850,400
検査機器購入積立資産	10,435,600	10,435,600	0
特定資産合計	356,705,936	342,224,316	14,481,620
(3) その他固定資産			
建物	75,567,412	80,007,692	△4,440,280
建物付属設備	36,958,867	43,979,817	△7,020,950
構築物	42,402,829	45,186,151	△2,783,322
車両運搬具	80,635,643	75,336,423	5,299,220
機械装置	8,846,606	8,946,196	△99,590
備用品	2,408,040	2,420,172	△12,132
検査用機器	8,034,762	8,762,969	△728,207
一括償却資産	798,073	76,544	721,529
電話加入権	1,326,550	1,326,550	0
ソフトウェア開発費	3,883,600	1,204,000	2,679,600
車両リサイクル預託金	466,900	433,260	33,640
保証金	30,240	30,240	0
長期前払費用	459,308	918,616	△459,308
その他固定資産合計	261,818,830	268,628,630	△6,809,800
固定資産合計	628,524,766	620,852,946	7,671,820
資産合計	959,861,042	969,773,234	△9,912,192
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	55,671,777	79,707,226	△24,035,449
前受金	454,500	449,000	5,500
仮受金	0	0	0
未払消費税等	14,326,600	8,641,200	5,685,400
預り金	1,285,612	2,310,062	△1,024,450
流動負債合計	71,738,489	91,107,488	△19,368,999
2 固定負債			
退職給付引当金	55,282,731	52,642,939	2,639,792
固定負債合計	55,282,731	52,642,939	2,639,792
負債合計	127,021,220	143,750,427	△16,729,207
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(301,423,205)	(289,581,377)	(11,841,828)
正味財産合計	832,839,822	826,022,807	6,817,015
負債及び正味財産合計	959,861,042	969,773,234	△9,912,192

表3 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額 (a)	平成28年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[2,500]	[2,500]	[0]
基本財産受取利息	2,500	2,500	0
② 事業収益	[817,658,484]	[835,388,489]	[△17,730,005]
廃棄物適正処理事業収益	677,188,212	674,722,800	2,465,412
環境検査分析事業収益	140,470,272	160,665,689	△20,195,417
③ 雑収益	[2,984,114]	[929,837]	[2,054,277]
受取利息	2,468	4,360	△1,892
雑収益	2,981,646	925,477	2,056,169
経常収益計	820,645,098	836,320,826	△15,675,728
(2) 経常費用			
① 事業費	[761,664,071]	[775,339,044]	[△13,674,973]
廃棄物適正処理事業費	(613,144,121)	(617,169,141)	(△4,025,020)
給料	390,849,341	386,944,564	3,904,777
臨時雇賃金	14,243,375	19,180,528	△4,937,153
退職給付費用	305,895	744,958	△439,063
退職共済掛金	144,000	288,000	△144,000
福利厚生費	78,146,015	77,133,619	1,012,396
旅費交通費	1,232,096	1,432,306	△200,210
減価償却費	24,877,397	21,841,625	3,035,772
通信運搬費	575,581	643,171	△67,590
消耗什器備品費	1,029,900	1,648,102	△618,202
消耗品費	4,018,048	3,399,888	618,160
修繕費	38,499,511	45,152,622	△6,653,111
印刷製本費	70,800	87,150	△16,350
燃料費	32,088,481	29,560,574	2,527,907
光熱水費	6,772,475	6,318,473	454,002
使用料及び賃借料	534,487	609,018	△74,531
保険料	7,786,266	9,853,946	△2,067,680
租税公課	4,288,500	4,228,600	59,900
負担金	42,000	45,000	△3,000
委託費	7,081,908	7,365,420	△283,512
手数料	470,608	560,887	△90,279
雑費	87,437	130,690	△43,253

科 目	平成 2 9 年度 決 算 額 (a)	平成 2 8 年度 決 算 額 (b)	差 引 (a) - (b)
環境検査分析事業費	(148,519,950)	(158,169,903)	(△ 9,649,953)
給 料	74,196,025	72,527,280	1,668,745
臨時雇賃金	0	83,318	△ 83,318
退職給付費用	1,846,070	3,822,232	△ 1,976,162
退職共済掛金	1,776,000	1,524,000	252,000
福利厚生費	12,652,470	12,208,177	444,293
旅費交通費	9,672,945	8,015,448	1,657,497
減価償却費	7,836,193	7,108,681	727,512
通信運搬費	1,055,712	1,095,783	△ 40,071
消耗什器備品費	380,700	88,000	292,700
消耗品費	5,715,870	9,346,770	△ 3,630,900
修繕費	929,993	1,091,761	△ 161,768
印刷製本費	277,500	295,100	△ 17,600
燃料費	512,220	527,511	△ 15,291
光熱水費	2,533,052	2,159,967	373,085
使用料及び賃借料	12,621,808	15,267,188	△ 2,645,380
保険料	879,800	885,102	△ 5,302
諸謝金	1,340,000	1,510,913	△ 170,913
租税公課	115,250	166,950	△ 51,700
負担金	827,444	694,582	132,862
委託費	12,972,829	19,282,542	△ 6,309,713
手数料	323,621	387,420	△ 63,799
海外資材費	0	0	0
雑費	54,448	81,178	△ 26,730
② 管理費	(52,160,056)	(46,289,520)	(5,870,536)
役員報酬	6,512,727	6,609,538	△ 96,811
給料	23,863,660	21,994,024	1,869,636
臨時雇賃金	1,983,968	254,130	1,729,838
退職給付費用	506,690	18,240	488,450
退職共済掛金	312,000	120,000	192,000
福利厚生費	7,512,981	7,014,372	498,609
旅費交通費	97,219	100,165	△ 2,946
減価償却費	866,241	132,742	733,499
通信運搬費	429,704	428,277	1,427
消耗什器備品費	0	307,756	△ 307,756
消耗品費	301,775	343,816	△ 42,041
修繕費	13,691	153,111	△ 139,420
印刷製本費	231,125	177,550	53,575
燃料費	44,084	48,252	△ 4,168
光熱水費	1,447,472	1,248,155	199,317

科 目	平成29年度 決算額 (a)	平成28年度 決算額 (b)	差 引 (a)-(b)
使用料及び賃借料	2,106,548	2,098,440	8,108
保 険 料	186,642	281,742	△95,100
諸 謝 金	141,370	62,562	78,808
租 税 公 課	733,705	822,400	△88,695
負 担 金	177,319	159,940	17,379
委 託 費	4,090,296	3,403,191	687,105
手 数 料	110,445	126,707	△16,262
雑 費	490,394	384,410	105,984
経 常 費 用 計	813,824,127	821,628,564	△7,804,437
評価損等調整前当期経常増減額	6,820,971	14,692,262	△7,871,291
基 本 財 産 評 価 損 益	0	0	0
特 定 資 産 評 価 損 益	0	0	0
投資有価証券等評価損益	0	0	0
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	6,820,971	14,692,262	△7,871,291
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	19,038	△19,038
② 退職給付引当金戻入額	0	9,460,349	△9,460,349
経 常 外 収 益 計	0	9,479,387	△9,479,387
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	1	1	0
② 訴訟関連損失	0	6,521,059	△6,521,059
③ 雑損失	3,955	3,494	461
経 常 外 費 用 計	3,956	6,524,554	△6,520,598
当 期 経 常 外 増 減 額	△3,956	2,954,833	△2,958,789
税引前当期一般正味財産増減額	6,817,015	17,647,095	△10,830,080
法人税、住民税及び事業税等	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	6,817,015	17,647,095	△10,830,080
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	826,022,807	808,375,712	17,647,095
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	832,839,822	826,022,807	6,817,015
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	832,839,822	826,022,807	6,817,015

資料 整備協会

(2) 公益財団法人北九州国際技術協力協会

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州国際技術協力協会（以下「協力協会」という。）は、北九州市及び周辺地域に蓄積された産業技術をもとに、必要な調査研究を進めるとともに、開発途上国等に対する国際協力や技術協力などを通じて地球規模での環境保全を推進し、ひいては人類社会の持続可能な発展に寄与することを目的として、昭和55年7月14日に設立され、平成24年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

(イ) 現況

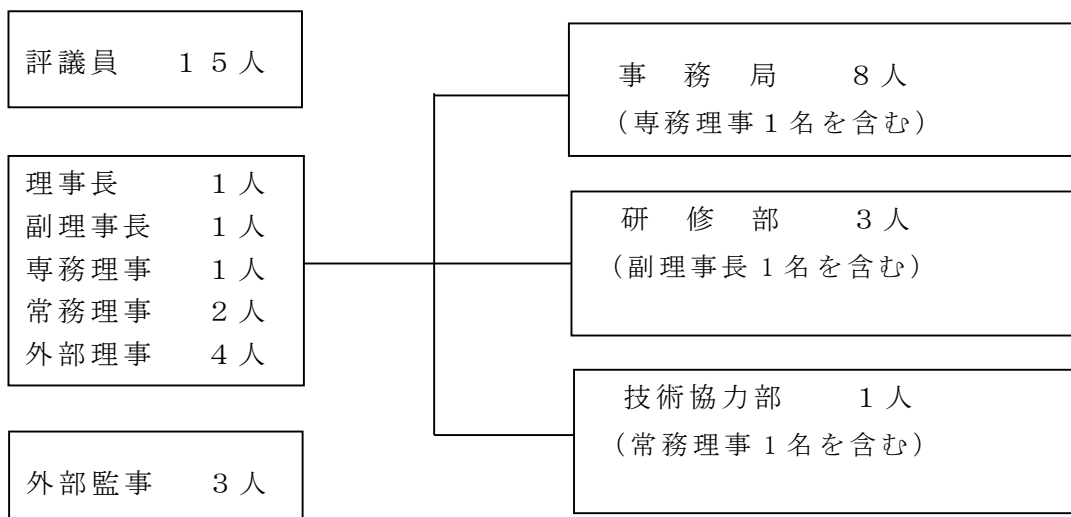
協力協会は、前記の事業目的を達成するため、関係機関と連携しながら、開発途上国等の研修員を対象とした研修カリキュラム・教材の整備・改善や研修コースの設定、実施をはじめ、専門技術者の海外派遣による技術協力などを行っているほか、国際親善を深めるための交流事業等を企画、実施している。

業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

協力協会の組織及び職員数は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(注) 各所属の人数は兼務者を含む。

(エ) 市との関係

市は、協力協会の設立に当たり、基本財産5億1,376万円のうち、2億1,000万円(40.9%)を出捐するとともに、調査研究活動事業等に対する運営補助金として、平成29年度は、3,260万円を支出し、平成30年度は、6月末までに3,260万円の交付を決定している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

協力協会の平成29年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は1,414万円のマイナスであり、前年度と比べると2億915万円減少した。これは、前年度に指定正味財産から一般正味財産へ1億4,400万円を振り替えたこと(平成27年度に指定正味財産に振り替えた金額を内閣府の指導を踏まえて前年度に一般正味財産に戻したものの。)により生じた経常外収益が皆減したことや、基本財産評価損益が4,472万円減少したことなどによるものである。

収益のうち経常収益は、前年度と比べ、2,757万円の減少となった。これは、JICAからの研修事業収益や技術協力事業収益が減少したことなどによるものである。

費用のうち経常費用は、前年度と比べ、1,229万円の減少となった。これは、事業の減少などにより諸謝金や旅費交通費等が減少したことなどによるものである。

協力協会では、平成27年度からマスタープラン(10年計画)を策定し、事業の構造改革に取り組んでいる。今後とも、関係機関等との緊密な連携のもと研修事業や技術協力事業の充実強化を図り、国際技術協力をより一層推進することを期待する。

表1 業務実績（平成29年度）

【研修事業】

海外から研修員を受け入れ、環境管理、省・新エネルギー等の技術研修を実施した。JICA研修34コースを実施、313名の研修員が参加した。

区分	No.	コース名	参加 国数	研修 員数
環境管理	1	廃棄物管理技術（応用・技術編）（A）	7	9
	2	廃棄物管理技術（応用・技術編）（B）	8	9
	3	コンポスト事業運営（A）	7	8
	4	コンポスト事業運営（B）	10	11
水資源・ 処理	1	下水道システム維持管理（B）	8	8
	2	水環境行政	6	7
	3	ベトナム下水道経営	1	10
	4	統合水資源管理（アフガニスタン）	1	7
	5	分散型汚水処理システム導入・普及	8	9
生産技術 ・地場産 業活性化	1	中南米地域中小企業・地場産業活性化（A）	6	9
	2	中南米地域中小企業・地場産業活性化（B）	9	13
	3	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略（B）	6	9
	4	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略（E）	6	8
	5	先進国市場を対象にした輸出振興マーケティング戦略（C）	7	10
	6	職業訓練の運営・管理と質的強化（C）	7	9
	7	日本のモノづくり現場のノウハウ	9	11
	8	アフリカ地域起業家育成・中小零細企業活性化	5	8
	9	日系研修 中小企業振興	1	6
	10	日系研修 和食ビジネス振興	5	6
省・新エ ネルギー	1	エネルギーの高効率利用と省エネの推進（A）	9	9
	2	エネルギーの高効率利用と省エネの推進（B）	5	8
	3	再生可能エネルギー導入計画（A）	9	9
	4	再生可能エネルギー導入計画（B）	7	8
	5	民生部門の省エネルギー技術（A）	6	8
	6	民生部門の省エネルギー技術（B）	6	8
	7	高効率クリーン火力発電の推進（A）	5	6
	8	高効率クリーン火力発電の推進（B）	8	9
	9	青年研修 中央アジア・コーカサス再生可能エネルギー	5	21
	10	青年研修 アフリカ再生可能エネルギー	9	14
	11	掘削マネージメント	6	7
	12	廃棄物処理技術の高度化（ウクライナほか）	3	14
保健衛生 他	1	食品安全行政	9	10
	2	持続的な都市開発のための都市経営（A）	6	7
	3	持続的な都市開発のための都市経営（B）	8	8

【技術協力事業】

海外への専門技術者派遣事業などを実施した。

(1) 中小企業海外展開支援

対象国・地域	実 績
ベトナム	○南部地域（ホーチミン市、バリアブンタウ州等）での生産委託先の開拓及び商品販路拡大の支援を実施した。 ・6月4日～8日 参加企業5社 ・1月28日～2月1日 参加企業7社

(2) 技術指導・技術支援

対象国・内容	実 績
ベトナム コンポスト製造技術指導	○ハイフォン市からのコンポスト製造技術向上指導要請に対し、技術専門家を派遣し、現地指導を実施した。
フィリピン 廃棄物管理指導	○「ダバオ市における廃棄物管理能力向上指導事業（JICA 草の根技術協力事業）」に対し、技術専門家を派遣し、現地指導を実施した。 H29年度～H31年度の3年間かけて指導する予定。
フィリピン 廃棄物発電事業基礎調査	○「ダバオ市での廃棄物発電事業にかかる準備調査・事業化検討事業（環境省補助金事業）」に対し、現地調査への技術専門家派遣と訪日研修（2回）を実施した。
カンボジア 廃棄物管理指導	○「プノンペン都における廃棄物管理能力向上指導事業（JICA 草の根技術協力事業）」が採択され、実行に向けての事前協議を開始した。

(3) 委託研修

研修名	関係箇所	実 績
自治体職員受入れ研修	北九州市環境局、 上下水道局	○受入れ研修員に関する事務処理を実施した。 ・大連市、プノンペン都 各1名
環境調査研修所研修	環境省環境調査研修所 北九州市環境局 福岡県環境部	○2件の委託研修を実施した。 ・廃棄物・リサイクル専攻別研修4日間（国内自治体職員39名） ・国際環境協力基本研修5日間（国内自治体職員10名）
ハイフォン市企業経営者向け経営塾	ベトナム日本人材協力センター	○経営塾の総仕上げである訪日研修の一部（北九州での実施分）を分担実施した。

(4) コンサルティング事業

案件名	実績
マレーシア国における食品廃棄物の堆肥化及びリサイクルループの構築に係る案件化調査（マレーシア）	○JICA の 2017 年度第 1 回中小企業海外展開支援事業/案件化調査に応募し、採択された。 今年度は 3 回の現地調査を実施した。 事業期間：H29.11 月～H31.2 月
高濃度有機産業排水を対象とした高性能排水処理システムの普及・実証事業（ベトナム）	○JICA の 2017 年度中小企業海外展開支援事業/普及・実証事業に応募したが、不採択となった。 2018 年度案件募集に再挑戦する。
コンクリート用再生骨材製造システムによる建設廃材の再資源化・資源循環ループの確立に係る案件化調査（タイ）	○JICA の 2018 年度中小企業海外展開支援事業/案件化調査に応募すべく、企画書を作成中。
交通安全対策に向けた日本式運転教習法導入による優良自動車学校群の構築に係る案件化調査（ベトナム）	○JICA の 2018 年度中小企業海外展開支援事業/案件化調査に応募すべく、企画書を作成中。

(5) その他

案件名	関係箇所	実績
北九州メンテナンス技術研究会（K M E）の再編入	会員会社（48 社）	○年度計画通り、以下の活動を実施した。 ・予知保全研究部会：15 名（11 社）×6 回 ・疲労・強度セミナー：20 名（12 社） ・腐食・防食セミナー：13 名（8 社） ・溶接技術セミナー：21 名（12 社） ・トライボロジーセミナー：11 名（5 社） ・制御技術セミナー：12 名（8 社） ・設備診断技術（電気編）セミナー：9 名（7 社） ・実践的油圧技術セミナー：22 名（9 社） ・設備診断技術（機械編）セミナー：10 名（8 社） ○本年度の退会 3 社、新規入会 4 社

【国際親善交流事業】

海外研修員を対象とした国際親善交流事業を実施した。

(1) 親善交流プログラム

プログラム	実績
ホームビジット	○研修員を登録ホストファミリーの家庭に招き、日常生活の中でお互いの伝統や文化、生活習慣等に触れる機会を設け、国際親善を図る日帰りの交流事業を実施した。 ・4回実施、27カ国34名参加、ホストファミリー32家庭
バスハイク	○北九州近郊の歴史・文化に触れ、また、市民の憩いの場を体験してもらうプログラムとして、長府及び海響館を巡るバスハイクを実施した。
西日本工業倶楽部の夕べ	○西日本工業倶楽部での施設見学や夕食会とあわせ、邸内で茶道を体験するプログラムを実施した。
地元企業交流会	○地元企業の若手社員と研修員との交流会として実施しているプログラムで、すしパーティを開催した。
地元大学生との交流会	○北九州市立大学地域共生教育センター国際交流プロジェクトメンバーの学生が企画した、研修員に日本文化や北九州近郊の歴史に触れてもらうプログラムを実施した。
ボウリング大会	○研修員に気軽に参加してもらい、交流を深めるための親善プログラムとして、ボウリング大会を開催した。
ギラヴァンツ北九州サッカー観戦	○北九州を本拠地とする唯一のプロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」の観戦応援プログラムを実施した。

(2) 英文生活情報誌の配付

毎年改訂発行している生活情報冊子「Let's Enjoy Kitakyushu!」を研修生全員に配付した。

(3) 記念写真CD・メッセージフォト作成・贈呈

(4) グリーティング電子メール送付

グリーティングメール送信件数：3,609通

閉講式写真送付メール送信件数：287通

【広報活動】

(1) 季刊誌「K I T Aニュースの発行」

年4回（日本語版：7月と1月、英語版：4月と10月）発行した。

(2) ホームページの更新

最新記事の掲載・更新などを適宜行い、活動内容などを紹介した。

表2 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	44,173,253	54,325,872	△10,152,619
未収金	44,798,787	44,510,290	288,497
前払金	260,633	475,891	△215,258
立替金	18,160	11,695	6,465
仮払金	23,038	0	23,038
流動資産合計	89,273,871	99,323,748	△10,049,877
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	90,969,300	90,969,300	0
投資有価証券	465,559,170	466,535,420	△976,250
基本財産合計	556,528,470	557,504,720	△976,250
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,569,027	4,600,091	968,936
KME事業推進資産	1,552,014	2,331,228	△779,214
特定資産合計	7,121,041	6,931,319	189,722
(3) その他固定資産			
建物付属設備	1,622,773	1,803,659	△180,886
什器備品	1,279,321	2,363,833	△1,084,512
ソフトウェア	4,781,850	11,093,040	△6,311,190
電話加入権	371,808	371,808	0
長期前払費用	114,264	173,880	△59,616
その他固定資産合計	8,170,016	15,806,220	△7,636,204
固定資産合計	571,819,527	580,242,259	△8,422,732
資産合計	661,093,398	679,566,007	△18,472,609
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,660,008	9,960,288	△3,300,280
預り金	1,775,767	1,729,358	46,409
賞与引当金	2,472,000	2,376,000	96,000
未払消費税等	630,600	1,992,600	△1,362,000
流動負債合計	11,538,375	16,058,246	△4,519,871
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,569,027	4,600,091	968,936
固定負債合計	5,569,027	4,600,091	968,936
負債合計	17,107,402	20,658,337	△3,550,935
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	1,552,014	2,331,228	△779,214
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,552,014)	(2,331,228)	(△779,214)
2. 一般正味財産	642,433,982	656,576,442	△14,142,460
(うち基本財産への充当額)	(556,528,470)	(557,504,720)	(△976,250)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	643,985,996	658,907,670	△14,921,674
負債及び正味財産合計	661,093,398	679,566,007	△18,472,609

表3 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで、単位：円)

科目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,676,790	4,677,969	△1,179
事業収益			
研修事業収益	122,819,363	134,367,355	△11,547,992
技術協力事業収益	33,070,560	47,981,842	△14,911,282
事業収益計	155,889,923	182,349,197	△26,459,274
受取補助金等			
北九州市補助金	32,600,000	32,600,000	0
その他助成金	100,000	100,000	0
受取補助金等計	32,700,000	32,700,000	0
受取寄附金			
指定正味財産からの振替額 (KME事業費充当額)	779,214	1,816,535	△1,037,321
受取寄附金計	779,214	1,816,535	△1,037,321
雑収益			
受取利息	28	79	△51
雑収益	41,618	110,667	△69,049
雑収益計	41,646	110,746	△69,100
経常収益計	194,087,573	221,654,447	△27,566,874
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	9,984,000	12,144,000	△2,160,000
職員人件費	14,966,837	14,468,427	498,410
賞与引当金繰入	1,737,000	1,699,500	37,500
退職給付引当金繰入	487,068	143,681	343,387
嘱託等人件費	43,646,963	41,985,183	1,661,780
諸謝金	44,240,599	48,946,429	△4,705,830
広報費	1,239,377	1,211,466	27,911
材料費	4,421,311	5,904,711	△1,483,400
旅費交通費	23,387,926	27,307,644	△3,919,718
通信費	1,139,347	1,394,822	△255,475
賃借料	8,399,072	8,743,674	△344,602
翻訳通訳料	10,865,395	11,315,541	△450,146
印刷製本費	2,794,302	2,941,126	△146,824
光熱費	1,044,412	878,140	166,272
修繕料	21,600	1,031,400	△1,009,800
使用料	1,419,521	0	1,419,521
減価償却費	7,772,855	8,049,255	△276,400
租税公課	2,533,500	3,734,050	△1,200,550
研修費会費	1,788,358	2,166,492	△378,134
事務用品費	1,350,686	1,951,853	△601,167
システムインフラ整備費	3,142,767	3,099,618	43,149
雑費	1,072,266	1,280,386	△208,120

事業費計	187,455,162	200,397,398	△12,942,236
管理費			
役員報酬	1,296,000	1,296,000	0
職員人件費	8,933,589	8,703,269	230,320
賞与引当金繰入	735,000	676,500	58,500
退職給付引当金繰入	481,868	259,891	221,977
嘱託等人件費	1,286,696	1,235,054	51,642
諸謝金	1,546,321	1,569,466	△23,145
広報費	697,151	681,451	15,700
旅費交通費	640,678	756,608	△115,930
通信費	145,940	172,448	△26,508
賃借料	1,167,682	1,241,359	△73,677
翻訳通訳料	75,867	55,617	20,250
印刷製本費	34,322	27,637	6,685
光熱費	258,766	218,091	40,675
修繕料	0	104,760	△104,760
使用料	341,095	0	341,095
減価償却費	392,547	317,060	75,487
租税公課	56,420	31,120	25,300
研修費会費	569,040	416,832	152,208
事務用品費	31,968	23,758	8,210
システムインフラ整備費	136,923	115,272	21,651
雑費	970,746	1,242,760	△272,014
管理費計	19,798,619	19,144,953	653,666
經常費用計	207,253,781	219,542,351	△12,288,570
評価損益等調整前当期經常増減額	△13,166,208	2,112,096	△15,278,304
基本財産評価損益等			
基本財産評価損益	△976,250	43,744,720	△44,720,970
基本財産売却損益	0	5,193,905	△5,193,905
基本財産評価損益等計	△976,250	48,938,625	△49,914,875
当期經常増減額	△14,142,458	51,050,721	△65,193,179
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
指定正味財産からの振替額	0	144,000,000	△144,000,000
經常外収益計	0	144,000,000	△144,000,000
(2) 經常外費用			
固定資産除却損			
什器備品除却損	2	47,600	△47,598
經常外費用計	2	47,600	△47,598
当期經常外増減額	△2	143,952,400	△143,952,402
当期一般正味財産増減額	△14,142,460	195,003,121	△209,145,581
一般正味財産期首残高	656,576,442	461,573,321	195,003,121
一般正味財産期末残高	642,433,982	656,576,442	△14,142,460
II 指定正味財産増減の部			
KMEからの受取寄附金	0	4,147,763	△4,147,763
一般正味財産への振替額	△779,214	△145,816,535	145,037,321

当期指定正味財産増減額	△ 779, 214	△ 141, 668, 772	140, 889, 558
指定正味財産期首残高	2, 331, 228	144, 000, 000	△ 141, 668, 772
指定正味財産期末残高	1, 552, 014	2, 331, 228	△ 779, 214
Ⅲ 正味財産期末残高	643, 985, 996	658, 907, 670	△ 14, 921, 674

資料 協力協会

(3) 株式会社北九州ウォーターサービス

ア 事業の概要

(ア) 目的

株式会社北九州ウォーターサービス（以下「会社」という。）は、北九州市と民間企業が共同出資し、行政出資団体の強みと株式会社の強みを活かした公民共同事業体として、「北九州市と国内外の上下水道事業体の発展と豊かな水環境の創造を支援する新たな担い手」となることを目指して、平成27年12月1日に設立された法人である。

(イ) 現況

会社は、前記の事業目的を達成するため、一般財団法人北九州上下水道協会から事業を譲り受け、また、北九州市から宗像地区事務組合の水道事業を新たに受託して、平成28年4月に本格的に事業を開始した。

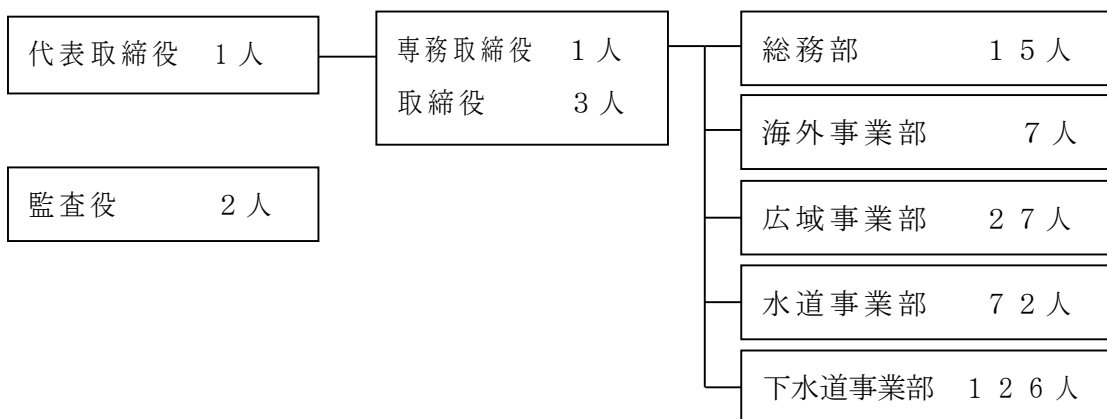
業務の実施状況は、表1のとおりである。

また、損益計算書、貸借対照表及び株主資本等変動計算書は、表2、表3及び表4のとおりである。

(ウ) 組織

会社の組織は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、会社の設立に当たり、資本金1億円のうち5,400万円(54%)を出資している。

また、平成30年度は6月末までに委託料8件、18億5,600万円の契約を締結している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務の執行は、おおむね適正に処理されていた。

会社の第3期(平成29年度)の収支状況を見ると、経常利益は前年度と比べて311万円減少の8,512万円、純利益は前年度と比べて193万円減少の5,138万円となった。この結果、平成29年度末の繰越利益剰余金は9,495万円となった。

経営状況については、事業開始以降順調に推移しているが、収益の大部分は市からの受託事業収入という状況である。今後は、技術やノウハウを活かした自主事業による経営の自立性を強化するとともに、人材の確保と技術の承継による持続可能な体制作りを構築しながら、北九州市の上下水道事業の補完的役割を担う事業者として成長していくことを期待する。

表 1 業務実績（平成 29 年度）

1 受託事業

事業名	内容
(1) 水道・下水道・河川に係る施設等の維持管理等事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給水装置工事審査・検査補助等業務 ・ 井手浦浄水場運転監視等業務 ・ 排水処理施設運転整備等業務 ・ 浄化センター中央操作等業務 ・ 新町・北湊浄化センター等運転整備等業務 ・ 排水設備工事審査等補助業務 ・ 竹馬川・貫川防潮水門監視業務
(2) 広域連携（宗像地区事務組合）に係る受託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄水場運転維持管理業務 ・ 水道管路等の維持管理業務 ・ 給水装置工事の審査・検査業務 ・ 水道施設の建設改良工事に関する業務
(3) 北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会の運営、協議会のホームページ運用、関係省庁や支援機関の支援情報提供、広報

2 自主事業

事業名	内容
(1) 海外事業（海外水ビジネス事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・ J I C A 中小企業海外展開支援事業における水質分析関連業務 ・ ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクトに係るコンサルティング業務 ・ J I C A ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画詳細設計 など
(2) 海外事業（国際協力事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年度「水環境行政」コース研修実施 ・ J I C A 集団研修「下水道システム維持管理(B)」コース研修実施
(3) 水道・下水道事業に係る公有地活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有地借上げによる駐車場管理運営業務
(4) 福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験事務等補助業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術者試験及び更新講習に関する業務の補助 ・ 県下水道協会の経理業務、総会、幹事会に関する補助業務

表 2 損益計算書の年度比較

(単位：円)

科 目	平成 2 9 年度 決算額 (A)	平成 2 8 年度 決算額 (B)	差 引 (A) — (B)
売上高	1,757,866,557	1,697,253,644	60,612,913
売上原価	1,488,464,164	1,480,337,809	8,126,355
< 売上総利益 >	269,402,393	216,915,835	52,486,558
販売費及び一般管理費	217,180,824	147,589,965	69,590,859
< 営業利益 >	52,221,569	69,325,870	△ 17,104,301
営業外収益	32,901,054	18,908,543	13,992,511
受取利息	2,247	3,066	△ 819
雑収入	32,898,807	18,905,477	13,993,330
営業外費用	1	2	△ 1
雑損失	1	2	△ 1
< 経常利益 >	85,122,622	88,234,411	△ 3,111,789
< 税引前当期純利益 >	85,122,622	88,234,411	△ 3,111,789
法人税、住民税及び事業税	33,746,038	34,932,264	△ 1,186,226
< 当期純利益 >	51,376,584	53,302,147	△ 1,925,563

表3 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	397,532,109	【流動負債】	236,718,315
現金及び預金	251,744,080	買掛金	78,603,676
売掛金	124,095,800	未払金	20,630,575
貯蔵品	4,495,249	未払費用	28,900,841
前払費用	2,106,210	未払法人税等	16,280,200
未収入金	15,090,770	未払消費税等	16,560,300
		預り金	5,893,838
【固定資産】	55,307,504	前受収益	6,752,900
有形固定資産	28,611,110	賞与引当金	63,095,085
建物	5,948,591	その他	900
建物付属設備	7,145,346		
機械装置	3,579,980	【固定負債】	21,170,775
車両運搬具	6,379,676	退職給付引当金	21,170,775
工具器具備品	5,557,517		
無形固定資産	7,220,220	負 債 合 計	257,889,090
ソフトウェア	6,868,620		
その他	351,600	純 資 産 の 部	
投資その他の資産	19,476,174	【株主資本】	194,950,523
出資金	4,493,600	資本金	100,000,000
差入保証金	14,590,160	利益剰余金	94,950,523
長期前払費用	374,074	その他利益剰余金	94,950,523
その他	18,340	繰越利益剰余金	94,950,523
		純 資 産 合 計	194,950,523
資 産 合 計	452,839,613	負債・純資産合計	452,839,613

表4 株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日、単位：円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
		繰越利益 剰余金			
当期首残高	100,000,000	43,573,939	43,573,939	143,573,939	143,573,939
当期変動額	0	51,376,584	51,376,584	51,376,584	51,376,584
当期純利益	0	51,376,584	51,376,584	51,376,584	51,376,584
当期末残高	100,000,000	94,950,523	94,950,523	194,950,523	194,950,523

資料 株式会社北九州ウォーターサービス

(4) 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

ア 事業の概要

(ア) 目的

公益財団法人北九州市芸術文化振興財団（以下「財団」という。）は、市民の芸術文化活動の振興に関する事業を行うとともに、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保護等を行い、もって市民生活の向上と市民の豊かな芸術文化の創造に寄与することを目的として、昭和51年4月1日に設立され、平成25年4月1日に公益財団法人に移行した法人である。

(イ) 現況

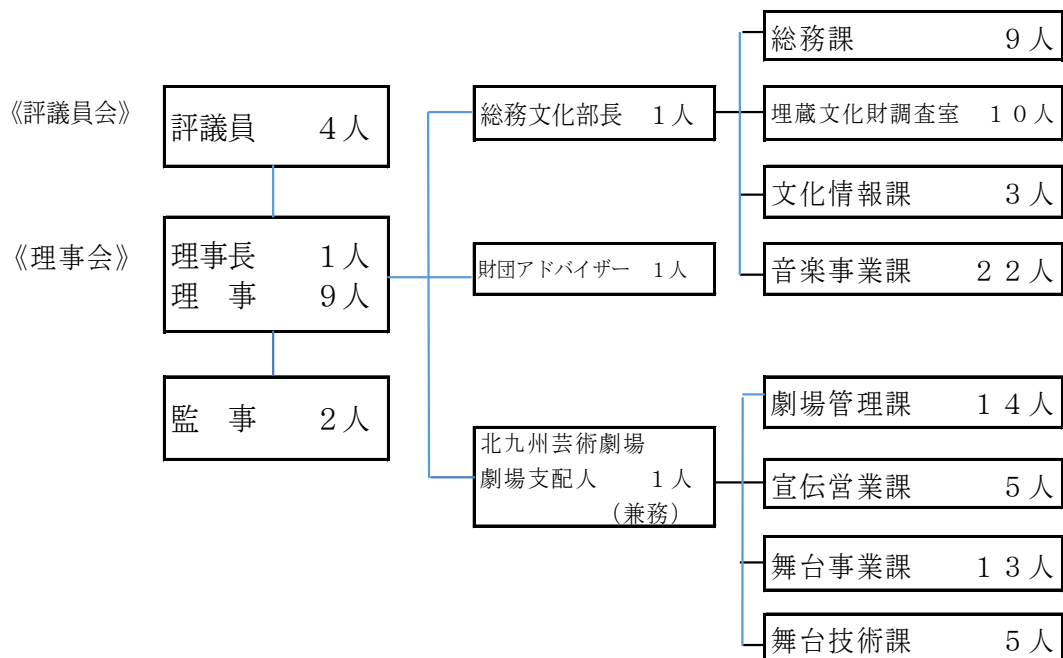
財団は、前記の事業目的を達成するため、芸術文化の振興に関する事業、芸術文化に関する情報の収集及び提供に関する事業、市から受託した芸術文化事業・文化施設等の管理運営事業、及び埋蔵文化財発掘調査事業等を行っている。

業務実績、貸借対照表及び正味財産増減計算書は、表1、表2及び表3のとおりである。

(ウ) 組織

財団の組織及び職員数は、次のとおりである。

(平成30年6月30日現在)



(エ) 市との関係

市は、財団の設立に当たり、基本財産500万円を全額出捐しているほか、北九州芸術劇場や響ホールでの公演に補助金を支出するとともに、芸術文化施設の管理運営、文化情報の提供及び埋蔵文化財の発掘調査研究事業等を委託している。

市は、平成29年度、財団に補助金9,062万円、委託料12億8,958万円を支出している。また、平成30年度は、6月末までに、補助金3,300万円、委託料3億2,081万円を支出している。

イ 監査の結果

監査の結果、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されていた。

財団の平成29年度の収支状況を見ると、当期一般正味財産増減額は1,547万円であり、前年度と比べると2,425万円増加した。

収益のうち経常収益は、前年度と比べ、1億2,146万円の減少となった。これは、公演収入等の文化振興事業収益や埋蔵文化財事業収益が減少したことなどによるものである。

費用のうち経常費用は、前年度と比べ、1億4,645万円の減少となった。これは、事業規模に応じて委託費等が減少したことなどによるものである。

財団は、市から北九州芸術劇場、響ホール及び大手町練習場の3つの芸術文化施設の指定管理者として指定を受け、管理及び運営を行っている。また、これらの施設を活用し、良質な舞台芸術や質の高い音楽の鑑賞機会の提供を実施し、芸術文化活動の振興に取り組んでいる。

経営状況については、黒字を確保しているが、収益の大半が市からの受託事業収入や補助金収入であることから、チケット収入等の自主財源の拡大や効率的な事業運営等に向けた経営努力を図りつつ、多様な事業を通じて、市民に優れた芸術文化に接する機会を提供するとともに、新たな芸術文化の創造を行い、市の芸術文化の振興に寄与していくことを期待する。

表1 業務実績

1 文化創造事業の実施

(1) 舞台芸術の振興

ア 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
北九州芸術劇場プロデュース 「彼の地Ⅱ ～逢いたいひ、と。」	北九州芸術劇場 2月17日～25日 8公演	平成19年度からの「青春の門 放浪篇」に始まる、第一線で活躍 する演劇人が北九州に滞在し、地 域の俳優やスタッフと北九州をモ チーフとした作品を創る北九州芸 術劇場プロデュースシリーズ。オー ディションを実施し、地域で活 躍する役者を出演者に起用するな ど“モノづくりの街・北九州”を 市内外に発信した。29年度は北 九州、東京のほか、愛知県豊橋市 でも上演。 【作・演出】 桑原裕子（KAKUTA）	北九州公演 895人
	あうるすぽっと（東京） 3月2日～4日 3公演		東京公演 774人
	穂の国とよはし芸術 劇場 P L A T アートスペ ース（愛知） 3月10日・11日 2公演		豊橋公演 252人
			合計 1,921人
他4件			1,720人

イ 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
地域のアートレパートリー 創造事業	北九州芸術劇場×リ バーウォーク北九州 集まれリバダン！！ プロジェクト「踏み 出せリバダン！！」 ワークショップ 3月21日	地域（地域や企業等）と劇場が 協働して創造活動を行った。こ れまで創作してきた、ギラヴァ ンツ北九州との協働による「ギ ラダンス」を普及するプロジェ クトと、リバーウォーク北九州 との協働による「リバダン」を リバーウォーク北九州15周年 にあわせて市民に広めるためワ ークショップを実施した。	42人
他10件（再掲1件含む）			2,230人

ウ 公演事業

市民に、より良質な舞台芸術を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
「ロッキー・ホラー・ショー」	北九州芸術劇場 大ホール 12月9日・10日 3公演	1973年にイギリスで初演し、世界中を熱狂の渦に巻き込んできた伝説のロック・ミュージカルを上演。 【脚本・作詞・作曲】 リチャード・オブライエン 【演出】河原雅彦 【出演】古田新太、小池徹平、ISSA、ソニンほか	3,438人
他 15 件			11,009人

エ 提携・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業提携等により、さまざまなジャンルの公演を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
【協力公演】 パルコ・プロデュース 「すべての四月のために」	北九州芸術劇場 大ホール 12月22日～24日 4公演	舞台「焼肉ドラゴン」の作・演出で演劇賞を総舐めにし、映画「月はどっちに出ている」「愛を乞うひと」で数々の賞に輝いた鄭義信による新作。 【作・演出】鄭義信 【出演】森田剛、白田あさ美、西田尚美、村川絵梨、伊藤沙莉ほか	4,595人
他 9 件			5,990人

オ 北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して、「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
平成 29 年度北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」	演劇的工場夜景ツアー 「ひかりとけむり」 「がんりう」船上 4月22日・23日 5月12日・19日・20日 5公演 ほか 3 件	平成 25 年度までの「北九州演劇フェスティバル」の名称を変更し、リニューアル 4 年目。「ものづくりの都市」として栄えてきた地域資源や生活文化を活用しながら、街なかを舞台に演劇やダンスを中心としたプログラムを開催した。	998人

カ 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援したほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施した。（いずれの事業も、イ 学芸事業、ウ 公演事業、オ 北九州舞台芸術フェスティバルの各事業の一部再掲）

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
シアターラボ2018	[戯曲講座] 北九州芸術劇場創造工房ほか ①『誰にでも書ける、あなたにしか書けない戯曲講座』 7月23日 ②『本格的戯曲講座』 8月～12月（全7回） [演出講座] 2月4日 [稽古～公演] 「ドブラー効果の求め方」 北九州芸術劇場創造工房 2月26日～3月11日 3公演	劇作家や演出家、更には劇団の結成等、次世代のリーダーの育成を目的として、劇場オープンから継続して取り組んでいる事業。戯曲講座を重ね、稽古場でのリーディング公演を行った。	207人
他3件			2,054人

キ 地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
第47回 北九州市ファミリー劇場 —角笛シルエット劇場—	各市民会館、 黒崎ひびしんホール、 北九州芸術劇場 大ホール 5月29日～6月5日 7公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供した。	4,332人
他1件			908人

(2) 音楽文化の振興

ア 創造事業

響ホールオリジナルの公演を制作し、実施するほか、地域との連携による新たな取り組みを行った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
YAHATA MUSIC PROJECT 響ホールフェスティバル 2017	[響ホールフェスティバル] ①本公演・関連イベント 響ホール 7月8日・9日 ほか1件	[響ホールフェスティバル] 本市を活動拠点とする響ホール室内合奏団と響ホールの共同企画。 2日間の公演及び関連イベントのほか、近隣小学校、JICA九州と連携し、1日目の舞台を彩る美術作品の制作ワークショップを実施した。 公演1日目は子どもも大人も楽しめる室内楽公演を実施。 【脚本・演出】浜田嘉生 公演2日目はオペレッタ「天国と地獄」短縮版を制作し、上演した。 【脚本・演出】泊篤志	3,319人
	[YAHATA MUSIC PROJECT (地域連携)] ①地域訪問コンサート 7月～2月(計8回) 八幡図書館、九州国際大学ほか ほか2件	[YAHATA MUSIC PROJECT (地域連携)] ①クラシック音楽に親しんでもらうため、民間企業や図書館等と連携し、訪問コンサートを実施。	

イ 響ホール公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
2017 響シリーズ第5弾 三浦文彰ヴァイオリン・リサイタル	響ホール 3月2日	ハノーファー国際コンクールで最年少優勝し、大河ドラマ「真田丸」のテーマ演奏で話題沸騰のヴァイオリニスト 三浦文彰とピアニスト イタマール・ゴランによる公演を実施した。	478人
他7件			4,425人

ウ 提携・共催・協力事業

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
上妻宏光 “Standard Songs” feat. 佐藤竹善	戸畑市民会館 大ホール 9月15日	福岡県退職教職員協会と共同主催により開催。 “伝統と革新”を追求し、津軽三味線の可能性を広げ続けている上妻宏光が、シングライクトーキングのボーカリスト佐藤竹善を迎え、ジャンルを超越し名曲達を奏でた。	641人
他2件			360人

エ 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
市制55周年記念 パイプオルガンの響きと合唱 組曲「北九州」演奏会	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月11日	市制55周年を記念して、北九州市の文化財産であるパイプオルガンの演奏とふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会を実施した。 出演：北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、北九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか	1,369人
他14件			7,189人

オ 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、地元演奏家の公演企画等により、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図った。（いずれの事業も、エ 育成事業の一部再掲）

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
第41回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館 大ホール 7月2日	市内及び近郊の少年少女合唱団9団体による合唱の祭典。	863人
他1件			1,335人

※貸館時に、八幡駅発のお迎えバス（9人乗り）を運行し、響ホールの立地の改善を図った。（主催者一部負担3,000円）9回/年

カ 地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
『木管五重奏とハープが響きあう至福のひとつき』～九響メンバーが奏でる響き～	響ホール 1月17日	クラシック音楽愛好家の裾野拡大を図るため、九州交響楽団メンバーによる木管五重奏とハープによるコンサートを実施した。	227人
他1件（再掲1件含む）			1,369人

（3）芸術文化情報の収集及び提供事業

市内の芸術文化活動の周知や公演情報の提供を図った。

事業名	場所・時期等	内容等
文化情報誌「CulCul・かるかる」の発行	毎月1日発行／8,000部 5月号は9,000部	文化芸術・社会教育施設にまつわる記事情報と文化施設の催事案内を掲載。
北九州芸術劇場&響ホール情報誌「情報誌Q」の発行	年4回発行／16,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、地域文化を紹介した。
芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	北九州芸術劇場プレイガイド、インフォメーション、アトライブラリー（アート&エコスペースを含む）、市民ギャラリー、ホームページ等で公演の情報提供等を行った。
北九州芸術劇場&響ホールチケットクラブQ会員制度	—	チケットの販売促進等のための会員制度。平成27年度より芸術劇場と響ホールの会員組織を統合して発足した。 特典：チケットの先行予約、ポイント積立による割引、公演情報の提供等 会員数：3,131人（平成30年3月31日現在）

（4）施設間の有機的な連携を図るための取り組み

響ホールと北九州芸術劇場をはじめ、他の文化施設等とも連携することで、異なるジャンルのアーティストが共に創作活動を行ったり、互いの施設の持つ専門性を持ち寄り、事業を実施したりすることで、地域の財産となる文化・芸術を活かした創造的活動の活性化を図った。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数
北九州芸術劇場× 到津の森公園連携事業 「どこをどうぶつる」	[関連企画] ①動物園内ガイドツアー 「どこをどうまわる？」 到津の森公園 (小倉北区) 10月14日・15日 ②ダンスワークショップ 「どっちが動物園!？」	北九州芸術劇場と到津の森公園の連携企画。動物をモチーフとし、ダンス・音楽などの要素を盛り込んだ作品づくりを行った。また、小学3～6年生を対象に、上演前に到津の森公園内ツアーを実施したほか、公演観覧後にダンスワークショップを行った。 【振付・出演】大植真太郎、森下真樹 【音楽・出演】田中馨	関連企画参加者 ①12人 ②8人 ①②合計 20人

	到津の森公園 (小倉北区) 10月14日・15日 [公演] 「どこをどうぶつ する」 到津の森公園 10月14日・15日 2公演		公演入場者 165人 合計 185人
他2件(再掲1件含む)			1,070人

2 芸術文化施設の管理

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として運営及び管理を実施した。

施設名	平成29年度		平成28年度		増減比較	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
北九州芸術劇場	1,641	277,035	1,676	277,063	△35	△28
響ホール	1,781	60,480	1,573	60,526	208	△46
大手町練習場	8,234	98,087	8,248	107,164	△14	△9,077
計	11,656	435,602	11,497	444,753	159	△9,151

※北九州芸術劇場は修繕工事により大ホール(H30.1.22~2.21)及び小劇場(H30.1.4~2.4)を一時閉館。

3 市有施設の維持管理

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行った。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素化センター、駐車場	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで (指定管理)

4 埋蔵文化財の発掘調査研究

市などから委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存、普及活動等を行った。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び整理事業

事業名	遺跡名	区分	
折尾総合整備事業	菅原神社遺跡9-1区 菅原神社遺跡9-2区	発掘	
小倉城天守台跡石垣測量業務	小倉城天守台跡	発掘	
集合住宅新築（横代北町五丁目）	稗田川遺跡第4地点	発掘	整理
他23件		発掘10件	整理13件

(2) 報告書等の刊行

- ア 埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行
 - ・森屋敷遺跡第2地点など 全14冊（14事業）
- イ 埋蔵文化財に関する調査・研究
 - ・年報、研究紀要 各1冊

(3) 埋蔵文化財に関する普及活動

- ア 遺跡発掘報告会
 - ・平成29年度に行った発掘調査のうち、話題性の高い4遺跡について市民対象に報告会を実施した。参加者80名。
- イ 埋蔵文化財速報展
 - ・最近の調査で出土した文化財を展示する埋蔵文化財速報展を3回実施した。
- ウ 市民向け及び小・中学生向け考古学講座
 - ・市民及び小・中学生を対象にした考古学講座を実施した。計13回、参加者延べ406名。
- エ 現地説明会
 - ・大手ノ勢溜り跡第2地点ほか1か所で、発見した遺構や出土した遺物を現地で学芸員が市民に解説。参加者700名。

(4) 埋蔵文化財センターの施設管理

埋蔵文化財の発掘調査や、出土品その他の考古資料の整理、収蔵及び研究等を行う埋蔵文化財センターの施設管理を受託し、維持管理を行った。年間総入館者数は5,039名。

5 地域文化の情報提供

(1) 市民生活・文化の振興事業

北九州市芸術文化情報誌「CulCul・かるかる」の刊行

事業名	時期等	内容等
文化情報誌 『CulCul・かるかる』の刊行	毎月1日発行 ／8,000部 5月号は9,000部	演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など約320カ所に設置し無料配布した。また、ホームページや電子書籍としても情報発信した。

(2) 書籍の販売等

市からの受託を含め、各種の書籍を市内書店及び当財団ホームページで販売した。

(3) 文化施設の情報提供事業（ホームページ）

「CulCul・かるかる」に掲載の記事と文化施設の催事情報をタイムラインで情報発信するメディアサイトの管理を行った。メディアサイトのアプリをダウンロードしたユーザーへ新着情報のプッシュ通知を行った。各機関からの情報や、取材などをもとにタイムリーな情報提供を行った。またミュージアムウィークおよび北九州市文化・観光施設共通観覧券事業開催期間中はメディアサイト上でも広報を行い、事業参加文化施設の企画展、常設展についての情報を提供した。

表2 貸借対照表

(平成30年3月31日現在、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	297,032,999	265,192,732	31,840,267
未収金	108,513,219	79,096,002	29,417,217
前払金	3,277,542	3,399,452	△121,910
立替金	3,160	0	3,160
流動資産合計	408,826,920	347,688,186	61,138,734
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	16,623,443	14,733,517	1,889,926
施設利便性向上事業積立資産	8,706,800	3,000,000	5,706,800
記念公演事業積立資産	5,000,000	0	5,000,000
特定資産合計	30,330,243	17,733,517	12,596,726
固定資産合計	35,330,243	22,733,517	12,596,726
資産合計	444,157,163	370,421,703	73,735,460
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	253,063,544	195,498,281	57,565,263
未払消費税等	7,239,800	6,402,000	837,800
前受金	23,260,910	25,881,023	△2,620,113
預り金	10,677,454	9,946,917	730,537
未払法人税等	1,008,300	266,200	742,100
賞与引当金	21,636,038	22,515,763	△879,725
流動負債合計	316,886,046	260,510,184	56,375,862
2. 固定負債			
退職給付引当金	16,623,443	14,733,517	1,889,926
固定負債合計	16,623,443	14,733,517	1,889,926
負債合計	333,509,489	275,243,701	58,265,788
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	110,647,674	95,178,002	15,469,672
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,706,800)	(3,000,000)	(10,706,800)
正味財産合計	110,647,674	95,178,002	15,469,672
負債及び正味財産合計	444,157,163	370,421,703	73,735,460

表3 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで、単位：円)

科 目	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	500	1,253	△753
基本財産運用益計	500	1,253	△753
受取会費			
チケットクラブ会費収益	959,100	604,900	354,200
受取会費計	959,100	604,900	354,200
事業収益			
指定管理事業収益	1,132,579,245	1,123,774,765	8,804,480
市受託事業収益	156,999,521	138,212,012	18,787,509
文化振興事業収益	111,388,730	199,424,289	△88,035,559
出版事業収益	345,680	294,569	51,111
埋蔵文化財事業収益	60,578,900	123,496,000	△62,917,100
手数料収益	3,253,416	3,589,172	△335,756
事業収益計	1,465,145,492	1,588,790,807	△123,645,315
受取補助金等			
受取国庫補助金	62,534,443	37,012,176	25,522,267
受取地方公共団体補助金	90,618,265	120,538,210	△29,919,945
受取民間助成金	10,151,000	3,651,000	6,500,000
受取補助金等計	163,303,708	161,201,386	2,102,322
受取負担金			
受取負担金	4,486,592	3,690,000	796,592
受取負担金計	4,486,592	3,690,000	796,592
雑収益			
雑収益	864,250	1,926,585	△1,062,335
雑収益計	864,250	1,926,585	△1,062,335
経常収益計	1,634,759,642	1,756,214,931	△121,455,289
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	7,400,520	7,360,520	40,000
給料手当	244,177,683	256,558,589	△12,380,906
臨時雇賃金	85,021,512	108,077,768	△23,056,256
退職給付費用	1,889,926	1,419,180	470,746
賞与引当金繰入	20,433,401	21,268,082	△834,681
福利厚生費	61,611,544	69,568,381	△7,956,837
会議費	10,656	22,970	△12,314
旅費交通費	6,581,160	6,973,650	△392,490
招聘旅費交通費	22,660,130	31,860,789	△9,200,659
通信運搬費	9,945,886	10,648,566	△702,680
消耗什器備品費	2,100,996	2,714,594	△613,598
消耗品費	15,640,972	17,888,888	△2,247,916
修繕費	5,746,751	13,803,458	△8,056,707
印刷製本費	20,169,853	22,684,080	△2,514,227
燃料費	566,035	468,055	97,980
光熱水料費	30,571,542	27,292,585	3,278,957
賃借料	35,059,527	40,273,608	△5,214,081
著作権使用料	655,132	965,867	△310,735
保険料	1,539,270	1,766,150	△226,880

諸謝金	22,469,754	22,823,212	△353,458
租税公課	32,392,614	34,114,900	△1,722,286
支払負担金	422,292,785	417,736,433	4,556,352
委託費	503,541,940	586,241,889	△82,699,949
工事請負費	6,327,612	11,167,213	△4,839,601
支払手数料	5,310,206	751,558	4,558,648
広告宣伝費	16,742,415	15,381,635	1,360,780
諸会費	221,544	219,600	1,944
ケータリング費	1,916,772	2,597,659	△680,887
雑費	261,868	1,046,678	△784,810
事業費計	1,583,260,006	1,733,696,557	△150,436,551
管理費			
役員報酬	411,000	455,500	△44,500
給料手当	19,213,119	15,048,592	4,164,527
賞与引当金繰入	1,202,637	1,247,681	△45,044
福利厚生費	3,838,586	3,173,253	665,333
会議費	41,173	42,027	△854
旅費交通費	275,110	175,730	99,380
招聘旅費交通費	80,720	51,760	28,960
通信運搬費	488,785	588,064	△99,279
消耗什器備品費	0	94,284	△94,284
消耗品費	516,392	505,420	10,972
印刷製本費	301,644	312,984	△11,340
燃料費	13,889	17,021	△3,132
賃借料	3,829,581	4,271,453	△441,872
保険料	67,350	96,610	△29,260
諸謝金	1,413,900	2,162,600	△748,700
租税公課	1,238,386	888,000	350,386
支払負担金	96,000	67,000	29,000
委託費	1,795,118	1,605,474	189,644
支払手数料	5,534	10,248	△4,714
諸会費	169,840	168,640	1,200
雑費	22,900	48,634	△25,734
管理費計	35,021,664	31,030,975	3,990,689
経常費用計	1,618,281,670	1,764,727,532	△146,445,862
評価損益等調整前当期経常増減額	16,477,972	△8,512,601	24,990,573
当期経常増減額	16,477,972	△8,512,601	24,990,573
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	16,477,972	△8,512,601	24,990,573
法人税、住民税及び事業税	1,008,300	266,200	742,100
当期一般正味財産増減額	15,469,672	△8,778,801	24,248,473
一般正味財産期首残高	95,178,002	103,956,803	△8,778,801
一般正味財産期末残高	110,647,674	95,178,002	15,469,672
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	110,647,674	95,178,002	15,469,672

資料 財団